



新型コロナウイルス感染症 5類への移行とマスク着用について

政府は、2023年5月8日に新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナ)の感染症法上の位置付けを、2類相当から5類へと移行する方針を正式に決定しました。新型コロナは5類への移行で「季節性インフルエンザ」と同じ分類になります。また、行動制限、医療機関の対応、公費負担などが変わり、マスク着用についても見直しがされました。

新型コロナ5類に関するQ&A

新型コロナの最新情報はこちら▶



Q 5類になると、どうなるの？

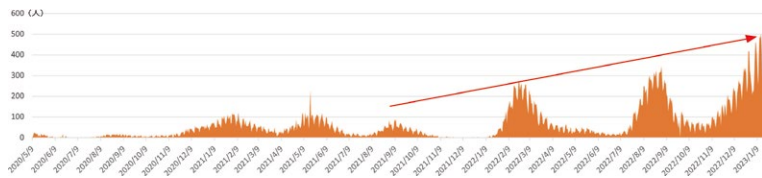
A 行動制限、医療機関の対応、公費負担などが変わります。感染していても自宅待機や入院の必要がなくなり、外出自粛もありません。入院する必要がある場合には、どの医療機関にも入院可能となります。ただし、医療費は自己負担分が発生します(段階的)。

Q 5類に移行したときのリスクは？

A マスク着用の緩和により、軽症、無症状のウイルス保有者が周囲の人へ感染させる機会が増えることが予測されます。重症化率が低いといっても感染者数が増えれば重症患者も必然と増えることとなり、70歳以上の高齢者の要入院患者の増加が予測されます。第8波よりも大きな波が来る可能性が高いと示唆されます。また、新型コロナの小児例は、これまで成人例に比較して症例数が少なかったですが、検査陽性者に占める小児例の割合が増加傾向にあり、死亡例も報告されています。今後も、注意が必要です。

▼新型コロナウイルス感染症(COVID-19)診療の手引き・第9.0版から引用

**COVID-19
死者数の推移
(日別)**
2023年1月19日現在
国内発生



当施設内でのマスク着用をお願い

Q マスク着用はどうなるの？

A 政府はマスク着用の考え方について「令和5年3月13日以降、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねる」と発表しました。ですが、マスク着用の推奨場面の1つに「医療機関を受診するとき」があります。当施設内では高齢者など重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、引き続きマスク着用をお願いいたします。

感染管理認定看護師 文字 雅義からメッセージ

5類移行後も新型コロナの感染力は衰えることなくリスクは続きます。気を緩めることなく1人ひとりの行動が重要です。引き続き“感染対策の「5つの基本」”を心がけてご自身や大切な人を感染から守りましょう。

- 体調不安や症状があるときは自宅で療養するか医療機関を受診すること
- その場に応じたマスクの着用やせきエチケットの実施
- 3密を避けることと換気 ●手洗い ●適度な運動と食事

次のページは、「**呼吸器センター開設**」について

Matsunami Information

NEWS

当院をご利用される皆さまへ、新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

**面会禁止、
夜間施設について**



**発熱症状で
受診される方へ**

来院前
ご確認ください



引き続き、多大なご迷惑とご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。各お知らせの詳細は、左のQRコードよりご確認ください。

松波総合病院柔道練習会のご案内

当院柔道部の活動の一環として院内柔道場にて、柔道の練習会を開催しています。柔道経験者だけでなく、未経験の方でも一からご指導します。女性の方には、護身術をお教えいたします。右記の日程・場所で行っておりますので、ご家族・ご友人などお誘い合わせのうえ、参加される方は、右記の連絡先に事前にご連絡をお願いします。

※2023年1月より活動場所が笠松町中央公民館から文武両道館(笠松町旧こども館)へ変更になりました。

松波英一名誉院長が笠松町に電気自動車を寄贈しました。

3月1日(水)に当院の松波英一名誉院長が笠松町へ電気自動車(EV)1台を寄贈しました。松波英一名誉院長は一昨年12月、笠松町の名誉町民に選ばれており、お礼の意味を込め、子育て支援、公衆衛生の推進に役立ててもらおうと電気自動車を贈りました。



令和4年度研修医修了式を行いました。

3月14日(火)に、令和4年度研修医修了式を執り行いました。2021年4月より2年間、卒後臨床初期研修として当院で日々研鑽に励み、このたび2023年3月をもって、初期研修を無事修了することができました。将来を支える人材としてさらなる飛躍・ご活躍を期待しております。



5月21日(日)に、第14回「日曜乳がん検診」を開催いたします。

多忙な平日をお過ごしの方々に、日曜日に受けられる乳がん検診を実施いたします。人数に限りがございますので、是非お早めにお申し込みください。

検査内容

①コース / 9,000円(税込)

専門医による触診・マンモグラフィー・乳房エコー

②コース / 4,500円(税込)

専門医による触診・乳房エコー

※マンモグラフィー・乳房エコーは女性技師が行います。

日 時

2023年5月21日(日) 午前8時30分～午後12時00分

申 込

事前予約が必要です。(先着14名)
健診の詳細、申込書のダウンロードは右のQRコードから



駐車場のご案内

立体駐車場への入庫は、左折のみとさせていただきます。右折入庫は渋滞の原因となりますので、右折入庫をなさらないよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



LINE公式アカウント「松波総合病院」開設しました!!

友だち登録をお願いします!

追加方法①

ID検索

「友だち追加」から「@120mghg」で検索してください。

追加方法②

QRコード

「友だち追加」から右記のQRコードを読み込んでください。



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院

〒501-6062

岐阜県羽島郡笠松町田代185-1

TEL 058-388-0111(代)

FAX 058-388-4711

<https://www.matsunami-hsp.or.jp/>



「松波総合病院 呼吸器センター」を開設します。 肺がんをはじめとする呼吸器疾患治療の体制強化を行ってまいります。

呼吸器センターについて

2023年4月から「松波総合病院 呼吸器センター」を開設いたします。

近年国内における死亡原因の1位である「がん」の中でも、肺がんは最多の死亡数を記録し続けています。(部位別がん死亡率[2020年]『肺』…男性:1位、女性:2位*)

そこで当院は、4月に呼吸器外科専門医を新たに1名迎えることを契機に、呼吸器内科・呼吸器外科・放射線治療科による「呼吸器センター」を立ち上げ、放射線診断科・病理診断科・がん治療センターと連携し、さまざまな呼吸器疾患への診療体制を強化いたします。

*国立がん研究センター がん情報サービス「がん種別統計情報 部位別がん死亡率(2020年)」より

呼吸器センターの特徴

当院の呼吸器センターには、以下の特徴があります。そのほか、昨年12月に開設したがん治療センター内の「薬物療法センター」では、26名を一度に薬物療法で治療することが可能であり、肺がん患者さんの薬物療法をサポートしています。

呼吸器専門医の充実した体制

呼吸器センターには、呼吸器外科専門医2名が在籍します。呼吸器外科専門医が2名以上在籍している病院は、当院を含めて県内で4病院(大学病院[1]、公立病院[2])のみで、充実した医師の体制のもと、呼吸器疾患への対応が可能となります。

硬性気管支鏡を用いた治療

肺がん・食道がん・甲状腺がんなどで気管や太い気管支が狭くなり、急に強い呼吸困難を起こした場合、硬性気管支鏡という特殊な道具を用いて、全身麻酔のうえ、気道を確保して苦痛を取り除く方法を実施しています。

硬性気管支鏡を用いた治療を実施している県内施設は3病院(公立病院[2])のみで、当院呼吸器内科では2021年から開始して、現在県内最多の症例数を実施しています。

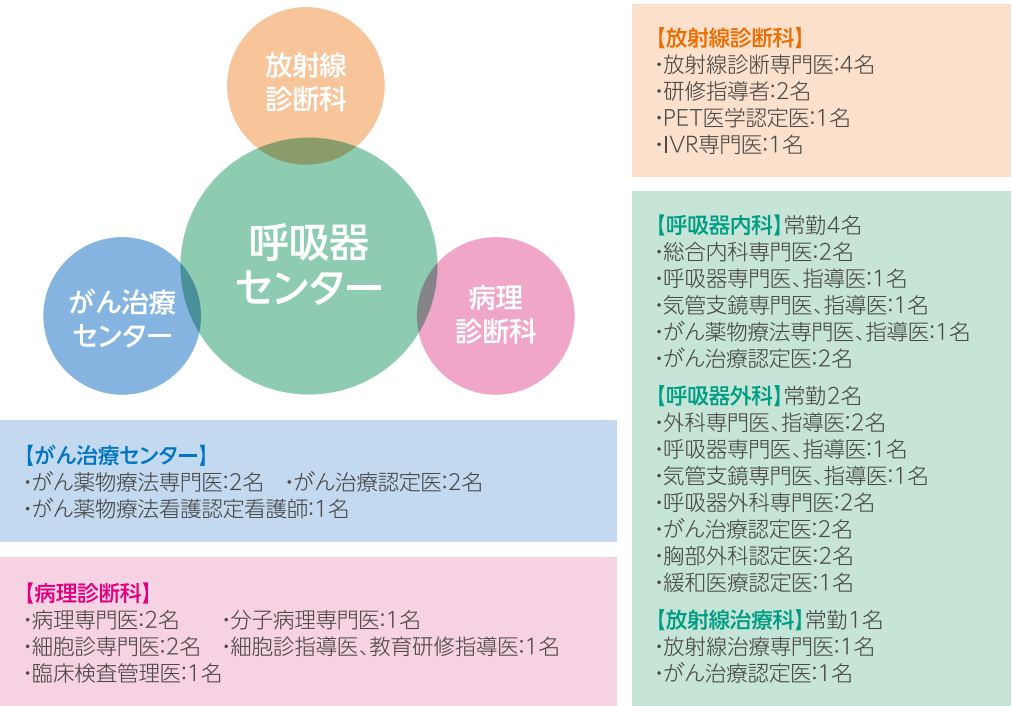


◀気管支鏡による
検査・治療の紹介
月刊まつなみ
2022年4月号



▼硬性気管支鏡

「呼吸器センター」を取り巻く体制



ダヴィンチによるロボット手術

当院では、2011年から手術支援ロボット「ダヴィンチ」による手術を、前立腺全摘除術を中心に実施してきました。2019年3月には「ダヴィンチX」を導入し、肺がん治療については、2022年から実施の体制を整え、本格稼働を開始しています。より患者さんの負担が少なく、正確な手術が可能となるロボット手術を行っていきます。

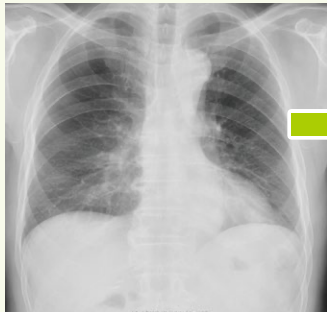


▲「ダヴィンチX」
当院では直腸がん、膵臓がんなどの手術にも用いる。

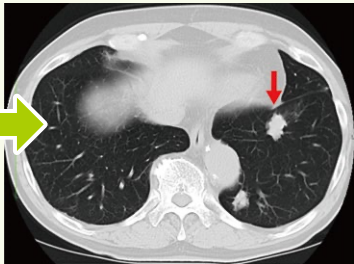
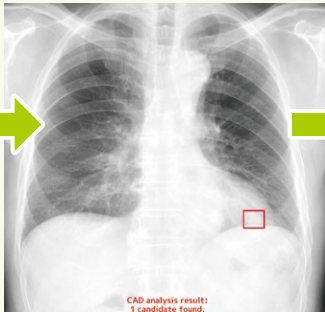
胸部X線画像の読影支援AIシステムの導入

2023年2月20日から、「胸部X線画像の読影支援AIシステム」を導入しました。X線画像(レントゲン)は、胸部疾患のスクリーニング検査に広く用いられ、胸部に異常がないかを読影します。胸部の読影は見落とし・見過ごしのリスクが高いとされ、時には肺がんの発見が遅れることがあります。今回のAI解析技術を導入することで、肺がんを見落とすリスクが減少し、肺がんの早期発見につなげることが期待されます。今後は、周辺医療機関にもサービスを提供することを予定しており、地域の肺がん患者の早期発見・早期治療に寄与できるよう体制を整えてまいります。

また今年2月には放射線治療の常勤医が赴任し、同4月からは放射線科を放射線治療科と放射線診断科に分け、放射線治療の専門性を高めます。今後、放射線治療装置を新たに導入し、肺がん治療における放射線治療領域も強化してまいります。



▲胸部X線写真で、異常が疑われる部位を赤い枠でAIが指摘します。



▲AIで異常が発見された箇所にCT検査を実施したところ、病変が発見されました。

早期非小細胞肺がんの臨床研究の推進

当院は呼吸器の臨床研究においても、実績を積み重ねています。厚生労働省が研究資金を提供している「LC-SCRUM-Advantage／MRD研究」では、全国60施設が参加しており、当院は全国で4番目に多い症例数を登録しています。また「早期肺がんCT-AI診断に関する国際臨床研究」にも参加しており、国内に留まらず、国外の臨床研究にも注力しています。

担当医師プロフィール



呼吸器内科 部長
呼吸器センター センター長
坂 英雄
(さか ひでお)

専門分野

- ▶ 肺がんの化学療法
- ▶ 気管支鏡による診断・治療
- ▶ 呼吸器インターベンション

認定資格

- ・日本内科学会:認定内科医、総合内科専門医
- ・日本呼吸器学会:呼吸器専門医、指導医
- ・日本呼吸器内視鏡学会:気管支鏡専門医、指導医
- ・日本臨床腫瘍学会:がん薬物療法専門医、指導医
- ・日本がん治療認定医機構:がん治療認定医
- ・Bronchoscopy International:Master Instructor

所属学会		
・日本内科学会 ・日本呼吸器学会:功労会員 ・日本呼吸器内視鏡学会:国際委員、前中部支部長、2016年学術集会会長、名誉会員 ・日本癌学会 ・日本臨床腫瘍学会:功労会員 ・日本肺癌学会:特別会員 ・日本癌治療学会 ・日本メディカルAI学会	・American Society of Clinical Oncology ・American Thoracic Society ・American College of Chest Physicians, Fellow ・Asian-Pacific Association for Bronchology and Interventional Pulmonology ・Asian Pacific Society of Respiriology ・European Respiratory Society ・International Association for the Study of Lung Cancer ・World Association for Bronchology and Interventional Pulmonology, Past-chair	



副院長
呼吸器外科 部長
がんセンター緩和部門 部門長
呼吸器センター 副センター長
春日井 敏夫
(かすがい としお)

専門分野

- ▶ 肺癌
- ▶ 縦隔腫瘍

認定資格	所属学会
・日本外科学会:外科専門医、指導医 ・日本呼吸器外科学会:呼吸器外科専門医 ・日本呼吸器学会:呼吸器専門医、指導医 ・日本呼吸器内視鏡学会: 気管支鏡専門医、気管支鏡指導医 ・日本がん治療認定医機構:がん治療認定医 ・日本緩和医療学会:認定医	・日本外科学会 ・日本胸部外科学会 ・日本呼吸器外科学会 ・日本呼吸器学会 ・日本呼吸器内視鏡学会 ・日本肺癌学会 ・日本緩和医療学会